

大島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本史特論	
科目基礎情報							
科目番号	0053		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	教科書なし/適宜プリント配布						
担当教員	開講しない						
到達目標							
(1) 明治維新期の日本における国際関係を、日英両国の史料をもとに多角的な視点から理解する。 (2) 今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1	日本側の史料とイギリス側の史料をそれぞれ解説し、それをもとに日英両国の関係を理解できる。		日本側の史料とイギリス側の史料をそれぞれ解説できる。「		日本側の史料とイギリス側の史料をそれぞれ解説できない。		
到達目標2	今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解し、説明できる。		今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。		今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
JABEE J(01) 本校 (1)-a 情報 (4)-b							
教育方法等							
概要	幕末期のの日英両国の関係を理解することで、今日の国際的な現状と背景に関する理解につなげる。						
授業の進め方・方法	日本側の史料とイギリス側の史料をそれぞれ解説し、当時の状況を実証的に把握する。						
注意点	現在の国際関係について、ニュースや新聞から把握しておくこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	明治維新史概説		明治維新史を総体的に理解できる。		
		2週	日本から見た幕末史		日本側史料から幕末史を理解できる。		
		3週	古文書解説		古文書を解説することができる。		
		4週	イギリスから見た幕末史		イギリス側の史料から幕末史を理解できる。		
		5週	英文史料解説		英文史料を翻訳することができる。		
		6週	幕末期の日英関係		幕末期前半における日英関係を理解できる。		
		7週	レポート作成		レポートを作成することができる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	明治維新史の研究史		明治維新史の先行研究を理解できる。		
		10週	明治維新史の研究手法		歴史学の研究手法を理解できる。		
		11週	明治維新史研究の課題		研究課題を設定することができる。		
		12週	グループ研究①		史料を用いて課題を解決することができる。		
		13週	グループ研究②		史料を用いて課題を解決することができる。		
		14週	グループ発表①		研究発表を行うことができる。		
		15週	グループ発表②		研究発表を行うことができる。		
		16週	期末試験				
評価割合							
	試験	発表	レポート				合計
総合評価割合	50	30	20	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	20	0	0	0	70
専門的能力	0	30	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0